

安全データシート

製品名 中性りん酸塩 pH 標準粉末 (pH6.86)

作成日 2013年2月28日

改訂日 2015年11月28日

1 化学名及び会社情報

化学品の名称	中性りん酸塩 pH 標準粉末 (pH6.86)
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の電話番号	075-691-4125
整理番号	GHS-0111
品目コード	12-04816-03

2 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	自然発火性固体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分 5
	皮膚腐食性/刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分外
	標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分外
環境に対する有害性	水生毒性(急性)	区分外
	水生毒性(慢性)	区分外

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	飲み込むと有害のおそれ

注意書き

応急措置	気分が悪い時は、医師に連絡すること。
------	--------------------

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学名(一般名)	りん酸水素二ナトリウム、りん酸二水素カリウム

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
りん酸水素二 ナトリウム	49.5%以上	Na ₂ HPO ₄	1-497	7558-79-4
りん酸二 水素カリウム	49.5%以上	KH ₂ PO ₄	1-452	7778-77-0

GHS 分類に寄与する不純物 なし
及び安定化添加物

4 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合	直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合	直ちに水を飲ませる。必要に応じて医師の処置を受ける。
応急措置をする者の保護	救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどを着用する。

5 火災時の措置

消火剤	この製品自体は、燃焼しない。
使ってはならない消火剤	特になし
特定の消火の方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	作業の際は適切な保護具を着用し、飛散したものなどが皮膚に付着したり、粉じんを吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を避難させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収、除去	飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	皮膚に付いたり、粉じんを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
注意事項	みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取扱う。
保管	
保管条件	
適切な保管条件	容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレン等

8 暴露防止及び保護措置

設備対策	粉じんが発生する場合は、局所換気装置を設置する。
管理濃度	作業環境評価基準(2005)未設定

許容濃度(暴露限界値)

日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じて防じんマスクを着用する。
手の保護具	不浸透性保護手袋
眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡

9 物理的及び化学的性質

物理的状态	白色の粉末
臭い	無臭
pH	6.86 (25°C)
融点・凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	不燃性である
発火点	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	データなし
溶解性	水に対する溶解性: やや溶けやすい 有機溶媒に対する溶解性: エタノールに不溶
オクタノール/水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	通常条件で安定である。
危険有害性反応可能性	酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱
混食危険物質	酸化剤
危険有害性のある分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く)	データなし

11 有害性情報

製品としてのデータはない。参考としてりん酸水素二ナトリウム、りん酸二水素カリウムの情報を記載する。

成分の有害性情報 <りん酸水素二ナトリウム>

急性毒性

経口	区分外 ラット LD50 >2000 mg/kg
経皮	データ不足のため分類できない。

吸入(蒸気)	データ不足のため分類できない。
吸入(粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	りん酸水素二ナトリウムは医薬品及び食品添加物として使用が認められていて、水溶液の pH は弱アルカリ性であるので区分外とした。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に対する刺激性は少ないが、データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性または皮膚感作性	呼吸器感作性: データ不足のため分類できない。 皮膚感作性: りん酸水素二ナトリウムは医薬品及び食品添加物として使用が認められているので、区分外とした。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	りん酸水素二ナトリウムは医薬品及び食品添加物として使用が認められているので、区分外とした。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	りん酸水素二ナトリウムは医薬品及び食品添加物として使用が認められているので、区分外とした。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。
成分の有害性情報 <りん酸二水素カリウム>	
急性毒性	
経口	飲み込むと有害(区分 4) 経口摂取すると、悪心、嘔吐、腹痛などを起こすことがある。 ラット LD50 1700 mg/kg
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入(蒸気)	データ不足のため分類できない。
吸入(粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性または皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	飼料中に添加(P 1.3%と Ca 0.5%含有)し 12 匹のマウスに 150 日間投与したところ、腎重量の増加を生じるが、腎石灰症は起こらなかった。また食餌及びたん白効率は対照食餌を与えた動物のそれに比べ減少したが区分外とした。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

12 環境影響情報

製品としてのデータはない。参考としてりん酸水素二ナトリウム、りん酸二水素カリウムの情報を記載する。

成分の有害性情報 <りん酸水素二ナトリウム>

移動性 データなし

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

生態毒性

魚毒性

水生毒性(急性) データ不足のため分類できない。

水生毒性(慢性) データ不足のため分類できない。

甲殻類(オオミジンコ) LC50 1089 mg/L/50H

成分の有害性情報 <りん酸二水素カリウム>

移動性 データなし

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

生態毒性

魚毒性

水生毒性(急性) データ不足のため分類できない。

水生毒性(慢性) データ不足のため分類できない。

13 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 水に溶かして酸で中和した後、多量の水とともに下水に流す。この場合、りん排出基準に注意する。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理する。

容器 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14 輸送上の注意

国際規制

国連分類(Class or Div.) 分類基準に該当しない

使用者が構内若しくは構外の輸送若しくは輸送手段に関連して知る必要がある、又は従う必要がある特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法 該当しない

労働安全衛生法 該当しない

化学物質管理促進法 該当しない

消防法 該当しない

16 その他の情報

引用文献

製品安全データシート 32379 リン酸二水素カリウム(関東化学株式会社)
製品安全データシート 37243 リン酸水素二ナトリウム(関東化学株式会社)

記載内容の問い合わせ先

担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4125
FAX 番号	075-691-9536

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料及び文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。又、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上